

「生きる力」を育む

教育指導等担当/5階
TEL(0222)555899
FAX(0222)558222

区は、「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」(中野区教育ビジョン第3次)という教育理念に基づき、さまざまな取り組みを行っています。今号では、新しい学習指導要領に基づいた幼稚園、保育施設、小・中学校の取り組みや地域との連携について紹介します。

幼児期からの連続した教育と区立学校の取り組み

就学前の子どもたちに向けた連携教育

区では、子どもたちが安心して入学の日を迎えられるよう、地域の小学校と幼稚園・保育施設が「つながり」を大切に連携を進めています。

具体的な取り組み例は、園児の小学校見学や授業・給食体験(アプローチカリキュラム)、小学校1年生の生活科での校内探検(スタートカリキュラム)など。

就学前の子どもたちが、小学校の雰囲気を感じ、小学生へのあこがれの気持ちを持つことで、幼稚園・保育施設から小学校への円滑な移行を図ります。



▲「今日はお当番。みんなの分をよそいます」。給食の用意をする様子(とちの木保育園)

小学校・中学校の連携教育

小学生が中学校へ安心して進学でき、中学生としての自覚や自分に対する有用感を高められるよう「小中連携教育」に取り組んでいます。

区立の小・中学校全体で、小・中学校の教員が相互に授業に関わる「乗り入れ指導」、小学生が中学校を見学・体験する「オープンキャンパス」、教員が子どもたちの課題を話し合う「小中連携教育協議会」などを行っています。

また、小・中学校が合同で行事を開催するなど各中学校区で独自の取り組みも始めています。



▲中学生が小学校へ外出き合唱披露(上)やあいさつ運動を実施

ICT(情報通信技術)教育の充実

昨年度までに、区立小学校のパソコン教室にタブレット型パソコンを、区立中学校の各教室に大型電子黒板と教員用タブレット型パソコンを導入しました。

これらの機器の活用により、学習課題に対する子ども同士の意見の交換もより活発になっています。

各校では、プレゼンテーションソフトで作成したスライドを電子黒板に提示しながら展開する授業や書画カメラ(実物投影机)を用いた子どもたちによる発表、ノート指導などICTを活用した教育を更に充実させていくとしています。



▲電子黒板を使って授業を展開(第八中学校)



▲タブレットを使った授業は子どもたちに好評(緑野小学校)

小学校での英語教育

区立小学校では、外国人講師を招くなど工夫・改善を図りながら外国語活動の実践的な授業を行っています。

白桜小学校では、子どもたちが自ら「英語に関わりたい」と思えるような授業づくりのため、標準的な授業モデルである「白桜スタンダード」を作成し、全学年が外国語活動に取り組んでいます。英語で歌ったり、ゲームをしたりと、楽しみながら英語に親しめる授業は、子どもたちが自身が「話したい・伝えたい」「聞きたい・伝えたい」と思えるように研究・実践しています。この研究については、11月2日に、同校で発表が行われる予定です。



▲実際に英語を使ってコミュニケーションすることは多文化理解のきっかけにも(白桜小学校)

地域ぐるみで子どもを育む

地域の多様な人材が活躍しています 学校支援ボランティア制度

学校・地域連携担当/5階
TEL(0222)555488 FAX(0222)556799
区内の各学校では、地域ぐるみで子どもたちの生きる力を育むため、地域のみならずや学生がボランティアとして活躍しています。

ボランティアのみならず、学校が必要とする支援の内容に応じ、それぞれの知識や経験、特技を生かしてさまざまな活動を行っています。

緑野小学校では、学生ボランティアが授業をサポート。図上の授業と一緒に作業をするなどの活動を行っています。子どもたちは、ボランティアの学生さんと触れ合うことで、将来について考える機会にもなっています。

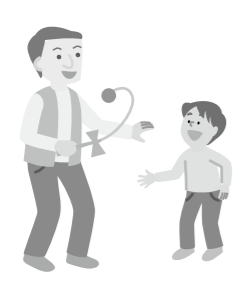
活動例

- 授業や放課後学習の補助
- 読み聞かせ
- 登下校の見守り
- 子どもたちとの交流を交えた昔遊び
- 花壇の手入れ など



▲図工の授業をサポートする学生(緑野小学校)

☆活動を希望する方は、学校・地域連携担当へ相談を。学校のニーズにより活動していただくため、希望通りの活動ができない場合もあります。



子どもたちと地域の関わり 学校と地域の連携

区立学校では、子どもたちが「生きる力」を育むため、自発的・主体的に取り組むことができるよう学校と地域で連携した活動を行っています。

第一中学校の取り組み

「学校から地域へ」

地域の活動に貢献することや、ボランティア精神を育んでいます。生徒会主催の地域清掃や避難所開設訓練の手伝いなどの他、中学校区の小学校の運動会や児童館のお祭りへの参加などさまざまな活動を行っています。

「地域から学校へ」

地域の教育力を生かす取り組みとして、社会人の話を聞く会を開催。実業家や法律家からの話や区内の専門学校による授業体験を通じて、自分自身は将来どのような職業に就くのかを考えるきっかけとなっています。



▲学校周辺を清掃する生徒



▲プライダル専門学校による授業体験の様子

図書館職員が子どもたちに本を紹介

区立図書館は、小学校3年生～6年生を対象にブックトークを実施。これは、図書館職員が小学校へ外出き、本を紹介する催しです。「本」を中心に子どもたちと交流し、読書に親しむきっかけをつくりたい。

昨年12月、谷戸小学校では、5年生に宇宙に関する本を紹介。参加した児童からは「以前読んだ本をまた読みたいになった」「内容を聞いて読んでみたいと思った」という声が上がリ、読書への興味が湧いたようです。

その他、2月17日に「ビプリオバトル」(発表者が読んだ本の面白さについて説明・発表し、参加者が読んでみたいと思った本に投票する紹介合戦)を全区立中学校と図書館との共催で実施するなど、本の貸し出しだけでなく、学校と連携した読書活動の推進にも取り組んでいます。



▲中央図書館にはビプリオバトルで紹介された本を展示中

「個性のある図書館づくり」企画展示を「ご覧ください」

中央図書館

TEL(03)40507070 FAX(03)40509090

区立図書館8館では、生活に密着したテーマを各館に割り当て、2か月ごとに展示内容を替えながら、関連図書やパネルなどを紹介しています。

6月30日(土)から、新しい展示に切り替えるので、ぜひお立ち寄りの上、「ご覧ください」。
☆各館の展示内容や所在地、休館日などについて詳しくは、図書館を「ご覧ください」になるか、中央図書館へお問い合わせを

